

会員の皆様

第8回 「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催について

研究会主査 伊藤重隆

冗長性は、情報システムでは信頼性との関連で論じられる観点です。今回は、「冗長性（畳長性）は一般には無用のものと解されがちであるが、情報理論ではそのような理解と異なって使用されることから、哲学的に見た場合、畳長性がいかなる意味を持つかを考える」について講演頂きます。

今回は、情報・情報システムに取り重要な概念である冗長性（畳長性）について十分に討議したいと考えています。畳長性は、山内先生の著書で使用されている言葉です。

第8回「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催ご案内

下記の要領により、第8回研究会を開催しますので奮ってご参加ください。

参加希望の方は、主査までご連絡をお願いします。

（メールアドレス：shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp）

開催日時 平成22年7月10日（土） 午後1時30分

場所 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館6階大会議室

場所説明 日吉駅地上改札を出てキャンパスの右に見える大きな建物です。

入館後、30m程直進し右手エレベータで6階に降り左へ向かいます。ドア前の内線で38022か38008へ電話し、研究会参加とお伝えください。直後にドアが開錠されます。

講演時間 午後1時30分—3時30分（予定）

質疑時間 1時間

講演題目 「畳長性について」

講演者 慶應義塾大学文学部倫理学専攻 教授

山内 志朗氏

以上